大阪府の地震

2025年12月

目　次

近畿地方及びその周辺地域の地震活動　……………1

震央分布図と断面図

概況

近畿地方で震度１以上を観測した地震　……………2

府県別震度一覧表と震央分布図

・大阪府で震度１以上を観測した地震

※12月に大阪府で震度１以上を観測した地震はありませんでした。

2025年の地震活動　……………………………………4

地震一口メモ No.247　………………………………8

改めて知っておきたい「南海トラフ地震臨時情報」について

＊「大阪府の地震」は月１回発行し、近畿地方及びその周辺の地震活動状況をお知らせするとともに、適宜、社会的に関心の高い地震について解説を行います。また、「地震一口メモ」で地震防災等の知識普及に努め、皆様のお役に立てることを目的としています。

＊この資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。

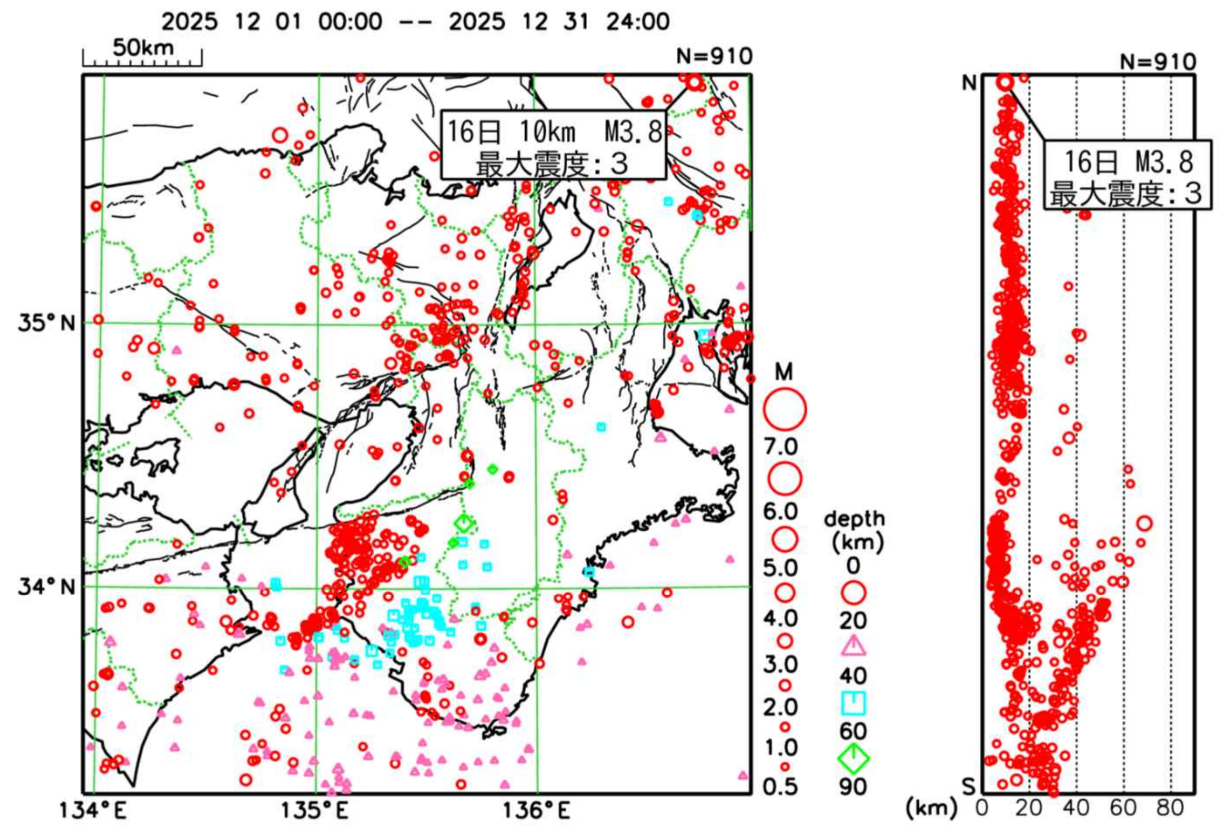
＊本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを基に作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを利用しています。

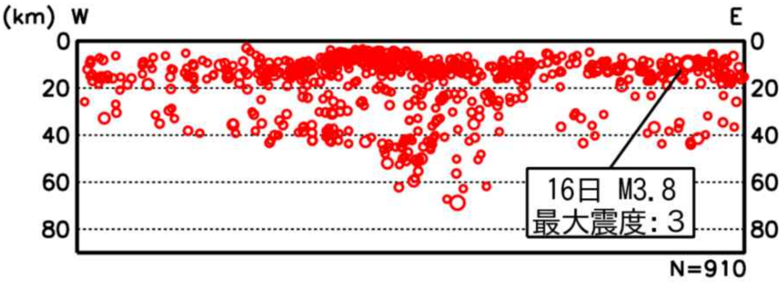
＊この資料に掲載した地図は、国土地理院の数値地図25000（行政界・海岸線）を使用しています。

大阪管区気象台気象防災部地震火山課

近畿地方及びその周辺地域の地震活動

（2025 年 12 月 1 日～31 日）





左上： 震央分布図

（地図中の細線は地震調査研究推進本部による活断層を表す。）

右上： 南北断面図

左下： 東西断面図

※図中で最大規模の地震に注釈。

概 況

12 月の上図の範囲内における M（マグニチュード）2.0 以上の地震は 41 回（前月 27 回）でした。このうち最も規模の大きかった地震は 16 日の福井県嶺北の地震（深さ 10km、M3.8）で、福井県大野市で震度３を観測したほか、石川県、福井県、岐阜県で震度２～１を観測しました。

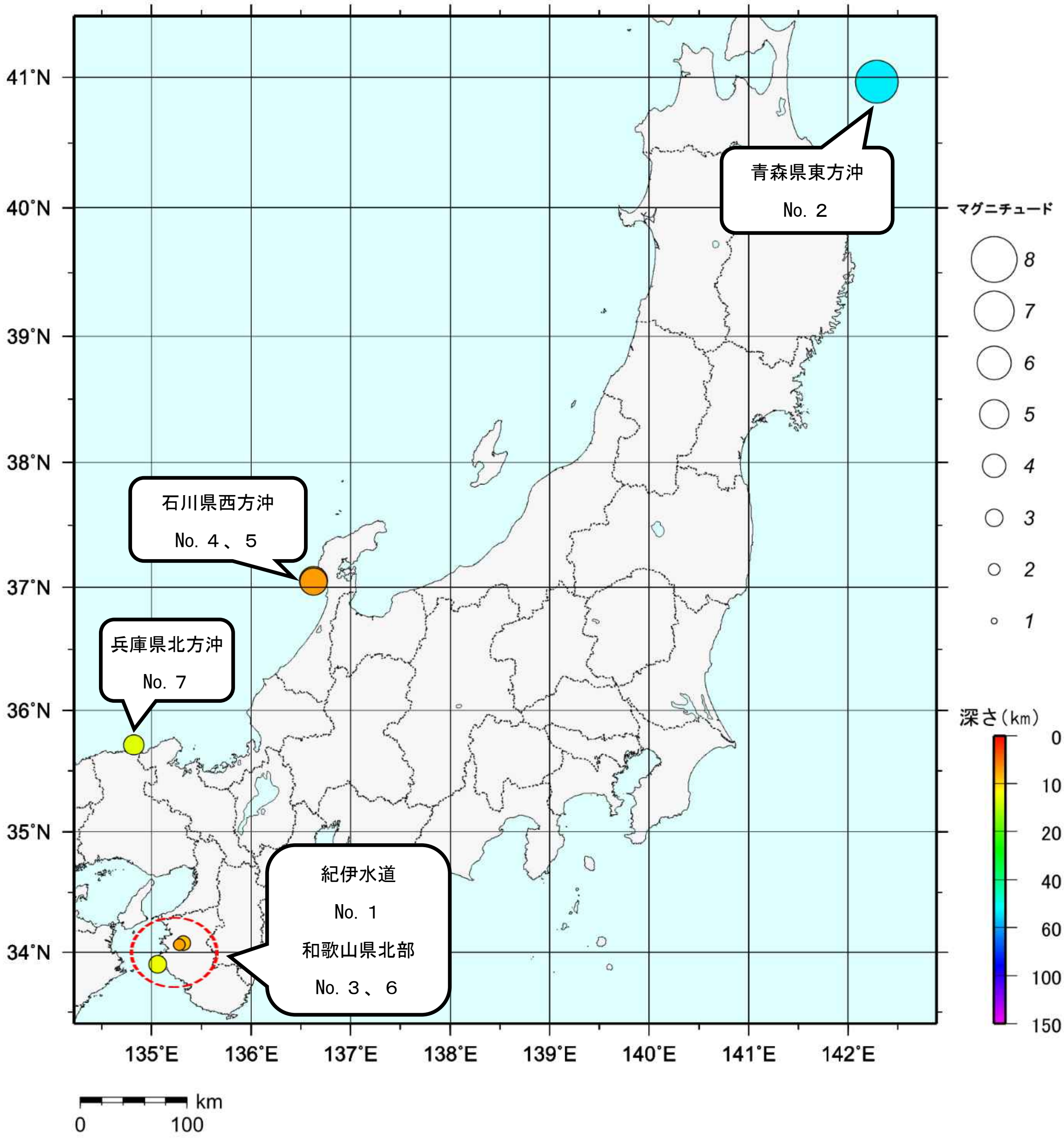
12月に大阪府で震度１以上を観測した地震は、ありませんでした（前月１回）。また、12月に近畿地方で震度１以上を観測した地震は、７回（前月７回）でした。

近畿地方で震度１以上を観測した地震

府県別震度一覧表

2025年12月1日～12月31日

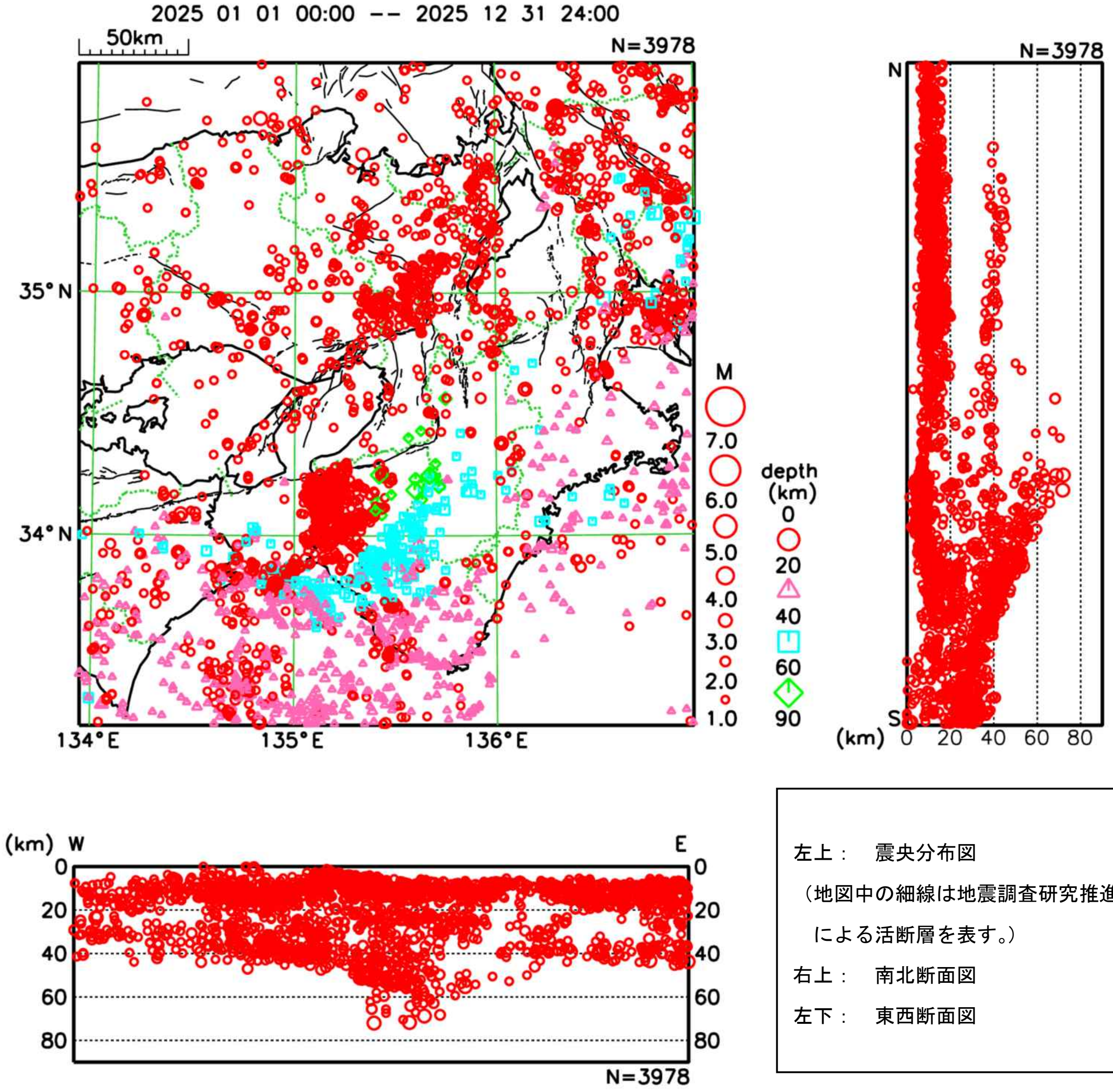
No.	発震時		震央地名	北緯	東経	深さ	M	最大震度	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
	年月日	時分秒		度分	度分	km								
1	2025/12/6	20:52:04	紀伊水道	33°54.0'	135°03.7'	13	3.0	1						1
2	2025/12/8	23:15:10	青森県東方沖	40°58.0'	142°17.2'	54	7.5	6強				1		
3	2025/12/14	13:57:01	和歌山県北部	34°03.8'	135°16.7'	8	2.1	1						1
4	2025/12/14	23:26:50	石川県西方沖	37°03.2'	136°37.5'	8	4.9	4	1					
5	2025/12/15	04:03:36	石川県西方沖	37°02.8'	136°37.7'	7	4.7	3	1					
6	2025/12/21	12:00:26	和歌山県北部	34°04.4'	135°19.0'	9	2.6	1						1
7	2025/12/27	08:26:26	兵庫県北方沖	35°43.0'	134°49.2'	13	3.5	2		1		2		



震央分布図
（注釈の番号は前ページの表の番号に該当します。）

2025 年の地震活動

（2025 年１月１日～12 月 31 日、マグニチュード 1.0 以上）



左上：　震央分布図

（地図中の細線は地震調査研究推進本部

による活断層を表す。）

右上：　南北断面図

左下：　東西断面図

概 況

2025 年に上図の範囲内で震度４以上を観測した地震はありませんでした(前年３回)。

上図の範囲内で最も規模の大きかった地震は、８月 25 日の福井県嶺北の地震（深さ 10km、M4.4）で、この地震により福井県越前市・池田町・越前町・南越前町、岐阜県揖斐川町で震度３を観測したほか、中部地方及び近畿地方で震度２～１を観測しました。

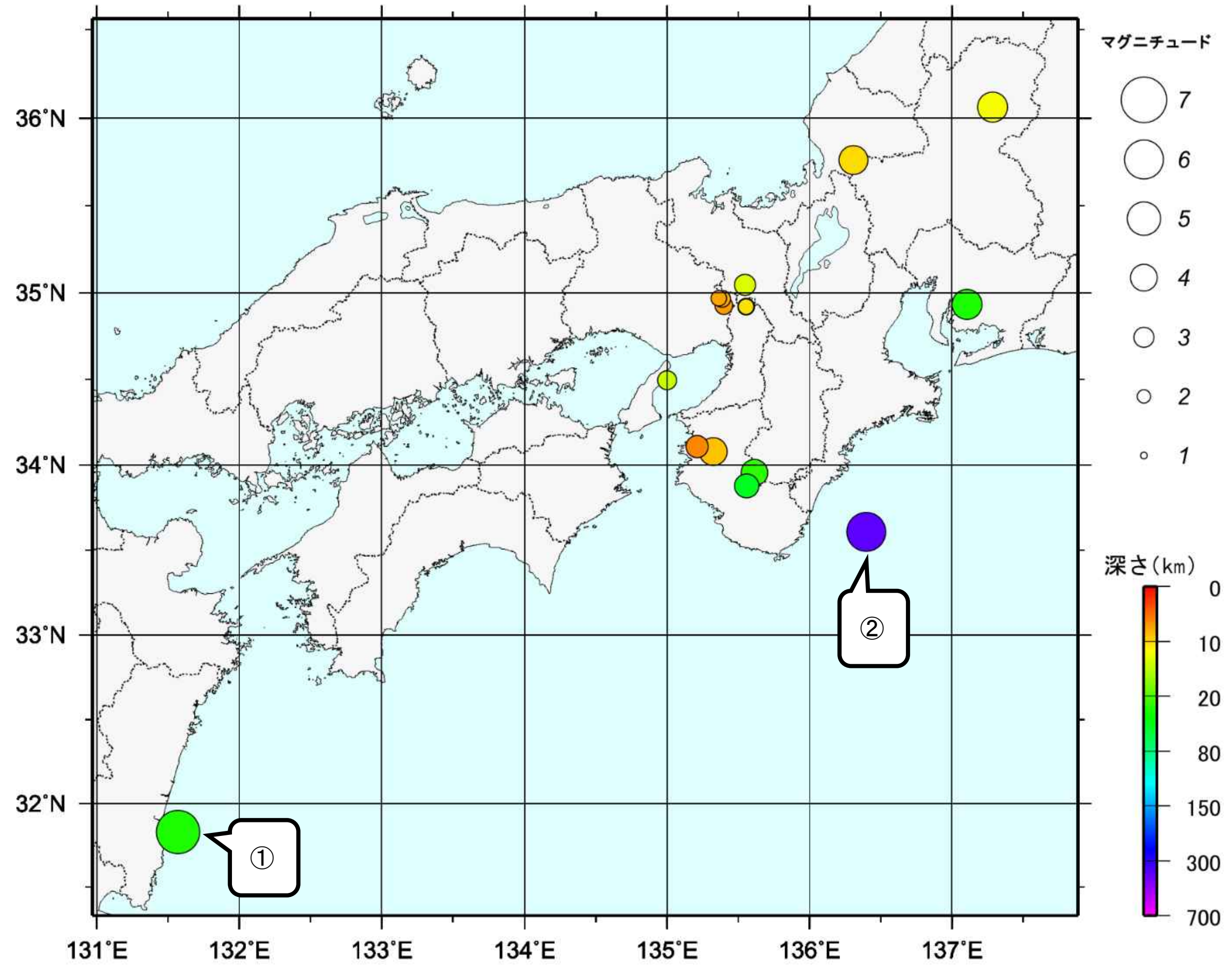
（１）2025 年に大阪府内の震度観測点で震度１以上を観測した地震の府内の最大震度別の回数表

	震度１	震度2	震度3	震度4	震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7	合計
１月	1	1								2
２月	5									5
３月	2									2
４月	1									1
５月	1									1
６月	1									1
７月										0
８月	3									3
９月										0
10月										0
11月	1									1
12月										0
合計	15	1	0	0	0	0	0	0	0	16

2025 年に大阪府内の震度観測点で震度１以上を観測した地震は 16 回(前年は 27 回)でした。また、2025 年に大阪府で観測した最大震度は２でした。

（２）2025 年に大阪府内の震度観測点で震度１以上を観測した地震の震央分布図

注：図中の吹きだしはマグニチュード 5.0 以上の地震です。



①１月 13 日 21 時 19 分 日向灘の地震（深さ 36km、M6.6）により、宮崎県宮崎市・高鍋町・新富町で震度５弱を観測したほか、中部地方から九州地方にかけて震度４～１を観測しました。この地震で、気象庁は南海トラフ地震臨時情報（調査中）を発表しましたが、巨大地震注意の発表基準を満たさなかったため、南海トラフ地震臨時情報（調査終了）を発表しました。この地震により、負傷者４人などの被害が発生しました（2025 年 11 月 14 日 17 時 00 分現在、総務省消防庁による）。

②２月 26 日 14 時 53 分 三重県南東沖の地震（深さ 398km、M5.9）により、福島県南相馬市・大熊町・双葉町・浪江町、栃木県宇都宮市で震度２を観測したほか、東北・関東・近畿地方で震度１を観測しました。この地震は太平洋プレート内部の深いところで発生しました。この地震のように、震央付近よりも、震央から離れた地域で大きな揺れを観測する現象は「異常震域」と呼ばれています。

（３）2025 年に大阪府内の震度観測点で震度１以上を観測した地震と大阪府内の震度の表

注：＊印は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。
震源が複数記載されている地震は、ほぼ同時刻に発生した地震であるため、震度の分離ができないものです。

震源時年 月 日 時 分	震央地名	北緯	東経	深さ	マグニチュード
2025年01月13日21時19分	日向灘	31° 49.7’ N	131° 34.2’ E	36km	M6.6
震度 2 ： 大阪西淀川区千舟＊, 泉佐野市りんくう往来＊ 震度 1 ： 大阪福島区福島＊, 大阪此花区春日出北＊, 大阪西区九条南＊, 大阪港区築港＊ 大阪大正区泉尾＊, 大阪天王寺区上本町＊, 大阪東成区東中本＊, 大阪城東区放出西＊ 大阪阿倍野区松崎町＊, 大阪西成区岸里＊, 大阪淀川区木川東＊, 大阪鶴見区横堤＊ 大阪住之江区御崎＊, 大阪平野区平野南＊, 大阪北区茶屋町＊, 大阪中央区大手前 大阪中央区大阪府庁＊, 豊中市曽根南町＊, 豊中市中桜塚＊, 寝屋川市本町＊ 大東市新町＊, 箕面市粟生外院＊, 岸和田市岸城町, 岸和田市畑町＊, 泉大津市東雲町＊ 貝塚市畠中＊, 泉佐野市市場＊, 富田林市本町, 高石市加茂＊, 阪南市尾崎町＊ 忠岡町忠岡東＊, 熊取町野田＊, 関西国際空港, 田尻町嘉祥寺＊ 大阪堺市中区深井清水町, 大阪堺市堺区大浜南町＊, 大阪堺市西区鳳東町＊ 大阪堺市南区桃山台＊					
2025年01月21日05時39分	兵庫県南東部	34° 57.9’ N	135° 23.2’ E	8km	M2.6
震度 1 ： 能勢町森上＊					
2025年02月10日09時24分	京都府南部	34° 55.2’ N	135° 33.3’ E	11km	M2.5
震度 1 ： 島本町若山台＊, 能勢町森上＊					
2025年02月10日17時17分	京都府南部	34° 55.2’ N	135° 33.3’ E	11km	M2.3
震度 1 ： 島本町若山台＊					
2025年02月18日01時46分	兵庫県南東部	34° 55.6’ N	135° 24.0’ E	7km	M2.7
震度 1 ： 能勢町森上＊, 能勢町宿野＊					
2025年02月21日17時24分	和歌山県北部	34° 06.5’ N	135° 12.6’ E	6km	M3.4
震度 1 ： 大阪岬町深日＊					
2025年02月26日14時53分	三重県南東沖	33° 36.3’ N	136° 23.8’ E	398km	M5.9
震度 1 ： 大東市新町＊					
2025年03月06日12時58分	和歌山県南部	33° 57.3’ N	135° 36.7’ E	32km	M4.0
震度 1 ： 岸和田市岸城町, 岸和田市畑町＊, 岸和田市役所＊, 泉大津市東雲町＊ 泉佐野市りんくう往来＊, 泉佐野市市場＊, 富田林市高辺台＊, 河内長野市清見台＊ 河内長野市原町＊, 大阪和泉市府中町＊, 泉南市男里＊, 泉南市信達市場＊ 大阪狭山市狭山＊, 熊取町野田＊, 田尻町嘉祥寺＊, 千早赤阪村水分＊ 大阪堺市西区鳳東町＊					
2025年03月09日11時41分	大阪湾	34° 29.7’ N	135° 00.1’ E	14km	M2.9
震度 1 ： 泉南市男里＊					
2025年04月08日19時26分	愛知県西部	34° 55.9’ N	137° 06.2’ E	36km	M4.6
震度 1 ： 寝屋川市本町＊, 四條畷市西中野＊					
2025年05月29日15時28分	岐阜県飛騨地方	36° 03.8’ N	137° 17.0’ E	12km	M4.5
2025年05月29日15時29分	岐阜県飛騨地方	36° 03.6’ N	137° 17.1’ E	13km	M4.5
震度 1 ： 島本町若山台＊, 能勢町森上＊					
2025年06月02日08時50分	和歌山県南部	33° 52.5’ N	135° 33.6’ E	53km	M3.8
震度 1 ： 河内長野市清見台＊, 熊取町野田＊					
2025年08月19日13時01分	大阪府北部	34° 58.0’ N	135° 21.7’ E	8km	M2.4
震度 1 ： 能勢町森上＊					
2025年08月22日01時30分	京都府南部	35° 02.7’ N	135° 32.8’ E	14km	M3.3
震度 1 ： 高槻市消防本部＊, 能勢町森上＊					
2025年08月25日01時44分	福井県嶺北	35° 45.5’ N	136° 18.5’ E	10km	M4.4
震度 1 ： 大阪平野区平野南＊					
2025年11月02日07時30分	和歌山県北部	34° 04.6’ N	135° 19.5’ E	9km	M4.2
震度 1 ： 大阪岬町深日＊, 千早赤阪村水分＊					

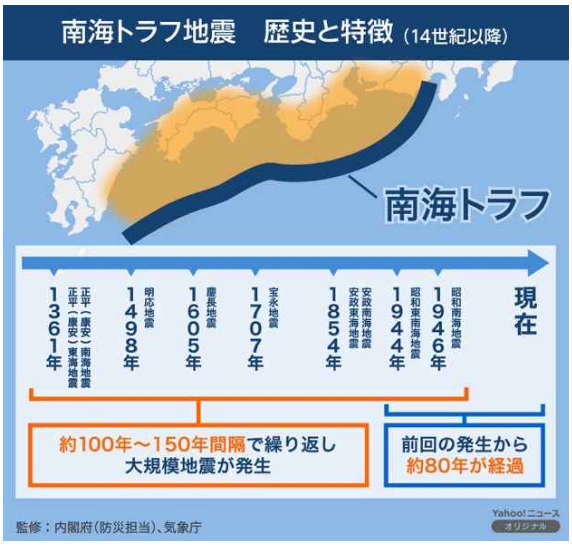
地震一口メモ No.247

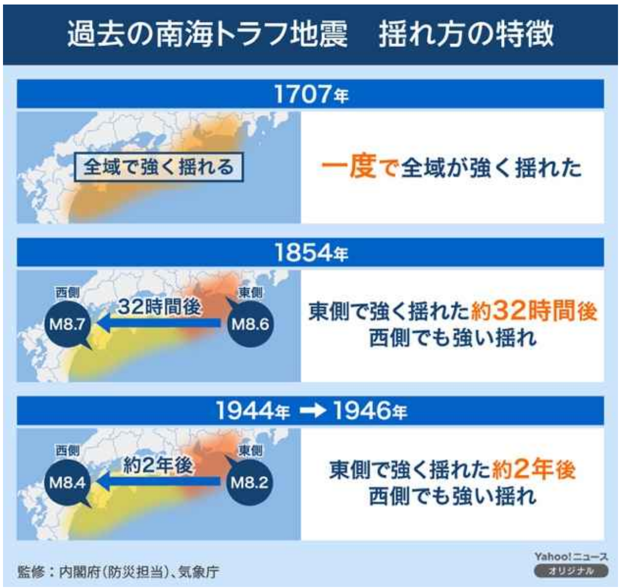
改めて知っておきたい「南海トラフ地震臨時情報」について

2025 年 12 月8日 23 時 15 分に発生した青森県東方沖の地震（深さ 54km、M7.5：どちらも暫定値）により、青森県の八戸市で震度6強を観測しました。この地震について、震源位置や規模を精査した結果、気象庁は、12 月9日 02 時 00 分に「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を令和4年 12 月の運用開始後初めて発表しました。この情報自体は大阪府に直接関係するものではありませんが、似たような考え方の情報として「南海トラフ地震臨時情報」があります。大阪府を含む広い地域に影響が及ぶ可能性があるため、今回の一口メモでは「南海トラフ地震臨時情報」について改めて確認していきたいと思います。

◇南海トラフ地震とは

南海トラフ地震は、駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源域として、概ね 100～150 年間隔で繰り返し発生してきた大規模地震です。過去の事例をみると、想定される震源域の全域が一度に破壊されたケースがある一方で、震源域の東側で大規模地震が発生した後、時間差を伴って残りの西側の領域でも大規模地震が発生したケースも確認されています。





◇「南海トラフ地震臨時情報」とは

南海トラフ沿いで異常な現象※が観測された場合や、観測された現象を調査した結果、南海トラフ沿いの大規模な地震発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まっていると評価された場合などに発表する情報です。

※南海トラフ沿いでマグニチュード 6.8 以上の地震が発生した場合やひずみ計で有意な変化を観測した場合などを想定しています

◇留意事項

南海トラフ地震臨時情報は、大規模地震の発生可能性が平常時と比べて相対的に高まっていることをお知らせするものであり、特定の期間中に大規模地震が必ず発生するということをお知らせするものではありません。逆に情報の発表がないままに突発的に大規模地震が発生することもあります。

◇とるべき行動

情報発表時には、日頃からの地震への備えの再確認に加え、臨時情報のキーワード（巨大地震警戒、巨大地震注意または調査終了）に応じて、政府や自治体などから呼び掛けられる防災対応をとることが大切です。

なお、津波警報等が発表されている地域では、津波への防災行動を最優先としてください。

前回の南海トラフ地震（昭和東南海地震（1944 年）及び昭和南海地震（1946 年））が発生してから約 80 年が経過している現在では、平常時においても次の南海トラフ地震発生の切迫性が高い状態にあり、いつ地震が発生してもおかしくないことに留意が必要です。一方で、地震の発生時期や規模などを正確に予知することは現在の科学技術では不可能です。

だからこそ、日頃から地震への備えを進めていただきますようお願いいたします。

参考：

気象庁 HP 南海トラフ地震について
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/jishin/nteq/index.html

気象庁 HP「南海トラフ地震に関連する情報」について
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/jishin/nteq/info_criterion.html

内閣府 HP 南海トラフ地震臨時情報が発表されたら!
https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/rinji/index.html